

りんご生育情報(6月号)

令和5年6月23日発行

【発行】宮城県登米農業改良普及センター

電話 0220-22-8603

HP <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

普及センターのホームページでは、過去の技術情報も掲載しています。お手持ちのスマートフォンなどで右のQRコードを読み取るとホームページへ移動できますので、ご利用ください。



1. 果実肥大状況

6月12日現在の「ふじ」の果実肥大状況は、平年と比較して、タテ径116%、ヨコ径128%と大きくなっています。

表1 果実肥大調査結果 (mm)

	タテ径	ヨコ径
本年	33.7	34.3
平年値	29.0	26.8
平年比	116%	128%
(参考)ゾヨイト樹	32.5	35.7

※東和町錦織の測定値。ゾヨイト樹は中田町川欠の測定値。

2. 病害虫の発生状況

宮城県病害虫防除所が6月12日に発行した発生予報第4号では、**斑点落葉病**、**モモシクイガ**、**キンモンホソガ**の発生量が「やや多い」と推測されています。

表2 宮城県病害虫防除所発生予報第4号(令和5年6月12日発行)

病害虫名	発生量	予報の根拠
斑点落葉病	やや多	巡回調査の結果、広域で発病が確認され、一部発病が多いほ場が確認されました。
モモシクイガ	やや多	前年の発生量は平年よりやや多かったことから、越冬量もやや多いと推測されます。
キンモンホソガ	やや多	県南及び県中部で被害葉及び幼虫の発生が確認されました。

また、ハダニ類については、県南部及び県北部で発生が確認されており、発生量は「平年並」となっています(宮城県病害虫発生速報より)。

これから梅雨時期に入り、防除間隔も空きがちになりやすいですが、天気予報を確認しながら「降雨前散布」を心がけましょう!

3. 管内の凍霜害の状況

管内では、4月の凍霜害の影響で、サビ果の発生がみられます(写真)。令和3年の凍霜害被害と比べて発生程度は大きくありませんが、発生が確認される園地においては、**サビ果を優先的に摘果**するようにしましょう。ただし、着果量が少ない樹については、サビ果や側果も着果させるなど、樹勢のバランスを崩さないよう注意しましょう。



写真 サビ果の様子(東和町)



